

レファレンスだより 2020年12月号 No.217

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

■レファレンス受付件数（2020年9月分）

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
67	1172	313	235	191
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
271	18	385	728	3380

（開館日 23日 一日平均 147件）

今月の特集！

天神さまと牛



2020年も残すところ、あと1ヵ月余りとなりました。今回は来年の干支「丑」にちなんで牛にまつわる本と、天神さまにまつわる本をご紹介します。

<年賀状や干支飾りを作ってみませんか>

『丑を描く 水墨画年賀状 水墨画塾』

水墨画塾編集部／編 誠文堂新光社 2020年

『折り紙建築福を呼ぶ干支の動物カードをつくる』

中沢 圭子／著 彰国社 2017年

『干支の切り紙 かわいい動物たち120作品が勢ぞろい』

大原 まゆみ／著 誠文堂新光社 2009年

『十二支を折る 折って飾れば福を呼ぶ』

小林 一夫／監修 エム・ピー・シー 2004年



『天神さん、ありがとう 日本中の「天神さま」を訪ねてみたら』

高村 歩／著 アドスリー 2014年



“天神さんの七不思議”

京都の北野天満宮には“七不思議”と言われているものがあり、その中のひとつに「唯一の立ち牛」があります。



<牛にまつわる本>

『干支の動物誌』

阿部 禎／著 技報堂出版 1994年

『うし小百科』

栗田 奏二／編 博品社 1996年

『牛と土 福島、3.11 その後。』

眞並 恭介／著 集英社 2015年

<菅原道真が登場する小説>

『泣くな道真 大宰府の詩』

澤田 瞳子／著 集英社 2014年

『時平の桜、菅公の梅』

奥山 景布子／著 中央公論新社 2011年

『菅原道真見果てぬ夢』

三田 誠広／著 河出書房新社 2013年

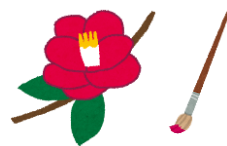




質問：椿の絵を描きたい。描法が載っている本はあるか。油絵以外で、椿の構造を踏まえて書かれている本が良い。



回答：以下のような資料があります。



■水墨画の本より

- ①『季刊水墨画 19 特集 椿の描法』（日貿出版社 1982 年） 閉架書庫 724/キ
特集のため、かなり詳しい。椿を花全体、花、葉と分けた詳しい描法プロセスや作例が載っている。また、白描による椿の写生や描き方、描法プロセス等も載っている。

*白描（はくびょう）……墨の筆線を主体として描かれた絵画。墨の面的な表現を主とする「水墨画」とは区別される。（参考『日本大百科全書 18』）

- ②『水墨画で描く茶掛<四季の手本帖>草花・果実・風景 52 題』

（斎藤 南北/著 日貿出版社 2003 年） 1 階ポ 6 2 724.1/サ

茶掛の描法の本。p40～「椿を描く」に描き方が載っている。作例として p18 に「藪椿図」がある。

■水彩画 ほか

- ③『透明水彩で描く楽しい植物画 12 ヶ月』

（高橋 京子/著 日貿出版社 2016 年） 1 階ポ 6 2 724.4/タ

p36～始めに椿の花自体の説明がある。椿の構造を知り、描くような手順になっている。オシベの基部が、“見える場合”と“見えない場合”に分けた描き方が載っている。参考作品も 5 例掲載されている。

- ④『花いろさんぽ道』（田代 知子/著 パイインターナショナル 2010 年） 1 階ポ 6 2 725.5/タ

色鉛筆画の本。P.72～「10 ヤブツバキ」で“しべ”“花びら”“葉”に分けて描き方が載っている。

- ⑤『一筆画で描く小さな花の四季』（水野 彩月/著 日貿出版社 2018 年） 1 階ポ 6 2 724.17/ミ

p54～「椿」で「オーソドックスなスタイル」の椿の描き方の手順が載っている。



質問：大正時代の、芸妓の用心棒や素行の悪い人たちの服装を知りたい。



回答：映画（タイトル不明）で、素行の悪そうな風体の人が芸妓の用心棒をしているのを観たとの事だが、そのような事実は資料では確認出来なかった（参考③④等）。

挿絵としての表現は①、②のような資料があります。



調査に利用した図書館資料



- ①『近代日本の身装文化 「身体と装い」の文化変容』

（高橋 晴子/著 三元社 2005 年） 2 階 D 1 9 383.1/タ

p284-286 概してこの時代の新聞雑誌の人物は、舞台風の身のこなしでえがかれるのが基本である。…こういう格好が実際のもので写真に残っていることはまず期待できないから、この分野は新聞雑誌の独壇場だろう（図 9-22）」

- ②『新聞連載小説の挿絵でみる近代日本の身装文化』

（大丸 弘・高橋 晴子/著 三元社 2019 年） 2 階 D 7 R383.1/タ 禁帯出

- ③『花街と芸妓・舞妓の世界 継がれゆく全国各地の芸と美と技』

（松田 有紀子・田中 圭子/著 誠文堂新光社 2020 年） 2 階 D 1 9 384.9/カ

p93「芸妓・舞妓のよそおいとそれを支える職人技」より、p116「男衆（おとし）」写真（現代）あり。p174「箱屋」浮世絵（1865 年）、写真（現代）あり。いずれも素行の悪さとの関連は見受けられない。

- ④『大正・昭和の風俗批評と社会探訪 第 4 巻 村嶋鼎之著作選集 売買春と女性』

（村嶋 鼎之/著 津金沢聡広/編 柏書房 2004 年） 2 階 D 1 4 360.8/ム

p392 妓丁（をとこし）に言及あり。

◆データベース「国立国会図書館デジタルコレクション（図書館送信限定）」より

『図解 服装の移り変り 第 2』（長谷川 路可・中田 満雄/共著 東海書房 1966 年）

？ 質問：フウランについての本が見たい（風蘭・富貴蘭の写真と栽培法）。



解答：“風蘭”とは日本大百科全書によると「風蘭。ラン科の常緑多年草。樹上に着床。江戸時代から栽培下にあり、富貴蘭（ふうきらん）とよばれる。”風蘭”および”富貴蘭”で調査し、以下のような資料があります。

- ①『風蘭の栽培：わかりやすい風蘭(富貴蘭)の育て方 入門種～有望品種150余種の解説付き』
(田口 源夫／著 池田書店 1989年) 閉架書庫 627/タ
風蘭・富貴蘭について詳細解説および栽培法・品種・カラー写真・文献紹介もあり。
- ②『富貴蘭：230種の特徴と楽しみ方』
(堀内 一博／著 三心堂出版社 1995年) 2階E12 627.5/ホ
富貴蘭全般について解説およびカラー写真あり。
- ③『野生ラン事典：オールカラーで240種 改訂版』
(月刊さつき研究社 1987年) 2階E12 627.5/ヤ
p278にフウラン、概要と自生樹上着床花付き写真があり、p291-295に野生ラン栽培の基礎の記載あり。
- ④『原種花図鑑』（流出版 2009年）閉架書庫 627.5/ケ
p62-72 富貴蘭カラー写真あり。p88-90 原種の魅力と栽培方法記載あり。



？ 質問：『弑臣伝(貳臣傳)』にでてくる人物の物語、実録本が見たい。



回答：以下のような資料があります。

- ①『大漢和辞典 巻10』（諸橋 轍次／著 大修館書店 1985年）2階C1 R813.2/E 禁帯出
p726「弑臣伝(ジシンデン)」について解説。
- ②『中国史 4 明～清（世界歴史大系）』
(松丸 道雄／編 池田 温／編 山川出版社 1999年) 2階B13 222.01/チ
- ③『大世界史 11 紫禁城の栄光』（文芸春秋 1968年）閉架書庫 209/ダ
- ④『宮崎市定全集 13 明清』（宮崎 市定／著 岩波書店 1992年）2階B12 220.08/ミ
- ⑤『中世史講座 11 中世における地域・民族の交流』
(木村 尚三郎／[ほか]編集 学生社 1996年) 閉架書庫 209.4/チ
- ⑥『異文化を生きた人々（叢書比較文学比較文化）2』
(平川 祐弘／編 中央公論社 1993年) 閉架書庫 280.4/イ
②～⑥には明清に仕えた臣下については人名が散見。
- ⑦『紅顔』（井上 祐美子／著 講談社 1997年）閉架書庫 913.6/イ
- ⑧『賢帝と逆臣と：小説・三藩の乱』（小前 亮／著 講談社 2014年）1階ポ56 913.6/JRI
⑦⑧呉三桂(明末将軍。清軍と協力して李自成の乱を平定。のち清に背き、三藩の乱おこす)をモデルとした小説。

【参考論文】

- ・『弑臣伝』と山東の「弑臣」（渡辺 修 立教大学学術リポジトリ）<https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/>
- ・『弑臣論』（岡本さえ 東京大学学術リポジトリ）弑臣の一覧表（人名、出身地、明官職、清官職等）あり。
<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>





今月の一冊！

『にほんのかたちをよむ事典：図説』

(形の文化会／編 工作舎 2011年) 2階C10 R210.03/-/ 禁帯出



「にほんのかたちをよむ」——まずこのタイトルに目を引かれるのではないのでしょうか。本書は、日本文化におけるさまざまな「かたち」を読み解く事典です。その「かたち」とは、「妖怪」に「風呂敷」、「歌舞伎」から「あそび」、「あるく」、「やぶる」等の身振りや動作に至るまで有形無形を問わず、それらの日本文化の諸相をいろいろな角度から切り取り解説しています。図版も豊富で読み物としても面白く、まずは関心のある項目から読んでみるもよし、きっと新たな驚きと発見とともに、伝統文化をより深く理解するための一助となるでしょう。

調べてみました ⇒ 「縮み志向」

「縮み志向」は日本人の思考と行動の型の1つであり、その類型は「①入れ子型」、「②扇子型」、「③姉さま人形型」、「④折詰弁当型」、「⑤能面型」、「⑥紋章型」の6つに分けられる。簡単な例の1つとして扇子を挙げると、団扇はどの文化でも有史以前から広く用いられていたが、それを細かく折り畳んで携帯に便利なかたちにしたのは日本人が最初ということだ。さらには家紋や俳句に至るまで、日本人にとっては、「広がり」志向よりもコンパクトにするという思考が、有形の物体ばかりでなくいろいろな行動にも表れる顕著な傾向を示しているとされている。——日本人の「縮み志向」には、島国ならではの生活の知恵と文化が息づいているのかもしれないね。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	有職文様図鑑	八條 忠基／著	平凡社	210.09/ハ
	アウシュヴィッツ潜入記 ： 収容者番号 4859	ヴィトルト・ピレツキ／著 杉浦 茂樹／訳	みすず書房	234.07/ピ°
社会	なぜ原爆が悪ではないのか ： アメリカの核意識	宮本 ゆき／著	岩波書店	319.8/ミ
	テレビジョン ： テクノロジーと文化の形成	レイモンド・ウィリアムズ／著 木村 茂雄／訳 山田 雄三／訳	ミネルヴァ書房	699/ウ
自然	「役に立たない」科学が役に立つ	エイブラハム・フレクスナー／著 ロバート・ダイクラーフ／著 初田 哲男／監訳 野中 香方子／訳 西村 美佐子／訳	東京大学出版会	404/フ
	ウイルスの世紀 ： なぜ繰り返し出現するのか	山内 一也／著	みすず書房	493.87/ヤ



今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内～

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》

作家の横顔

《社会科学》

ジェンダー

～ともに生きる社会～

《自然科学》

農業のすすめ

《国際》

アジアの文学

《1階 特設展示棚》

選挙と政治

《国連》

国連 × 人権